

相生山緑地オアシスの森くらぶ ニュースレター

32号

2008.3.22 発行

発行/相生山緑地オアシスの森くらぶ編集委員会 発行人/大館 学 編集長/近藤 真史

INDEX

【本号掲載分の活動】

- 10月27日(土)… 第9回どんぐり祭り/定例活動
- 11月17日(土)… 巣箱の点検・清掃/特別活動
- 11月24日(土)… ヤマザクラ周辺の竹林管理/定例活動
- 12月8日(土)… 四日市市「あがたの森づくり」の皆さん来訪
- 12月22日(土)… 門松づくり/定例活動
- 1月20日(日)… しいたけの菌打ちに挑戦/天白・モリのフォーラム フィールドサーキット
- 1月26日(土)… ツツジの園づくり/定例活動
- 2月23日(土)… アカマツ林整備/定例活動

11月 定例活動

ヤマザクラ周辺 の竹林管理



11月定例会は竹林管理です。前日の寒さから一転して暖かな日となり作業には絶好の日和となり、約10人の会員が作業に汗を流しました。

今回は小屋西の竹林の整備を行いました。この場所は私のお気に入り、大きなヤマザクラがあります。

過去にも数回か整備をした場所で、かつてはテレビ番組「そこ知り板東リサーチ」の取材を受けたこともある場所ですが、時間の経過に伴い竹が繁茂して荒れてきていました。里山保全には終わりが無いことと、あらためて森くらぶの歴史を感じます。

午前中の作業で現場は見違えるように綺麗になりました。

昼休みには、河野さんが育てたサツマイモを焼き芋にして、皆でを輪になって食べました。最近では作業の合間にちょっとした交流があり、これも活動

の楽しみになっています。

昼からは切り出した竹を炭にするための材料に整える作業を行いました。各自切り出した竹の整理や材料づくりに汗を流しました。竹を一定の長さに切りそろえ四分割して節を取り除き整えた竹材は、天日干して炭焼きに備えます。

この時期の竹林管理は毎年の定例となっており、何も考えなくても体が動きます。私自身、森の仕事は生活の一部になっていることを改めて感じます。

なお、今回の作業で作る竹炭は、3月の萌木まつりに利用する予定です。炭火で焼いたシイタケ（これも自家製）を肴に、会員の皆さん杯とを交わすことも楽しみなことです。

今後もくらぶ活動に汗を流したいと思っています。 (村田)

12月 定例活動

門松づくり



天気予報では正午より雨。空を見ると午前中は何とか持ちそうでした。こんな天候にも関わらず18名が集合。雨の降り出す前にまず山根口の門松を完成させようと全員気合いを入れて取りかかりました。

竹を切る人、土を掘る人、材料を揃える人、…と各自ができることをテキパキとこなして正午前には立派な門松が出来上がりました。芯となる竹の切り口が見事に決まり、周りを囲む松、梅、南天、裏白、葉ボタンのバランスも絶妙で、プロにも劣らぬものとなりました。

新年にはくらぶ結成10周年になります。それにふさわしいできになったかなと思います。

余談ながら、竹を切っているとき葉陰にタヌキがひっそりと死んでいました。白骨化していましたが、毛はふさふさとしていました。存在が確認できました。

予報通りに雨がポツポツと降り始めたので小屋のデッキへ移動、小雨のなか残りの材料で各自ミニ門松を作り上げた後、新年の活動での再会を期して解散となりました。 (伊藤 晶)